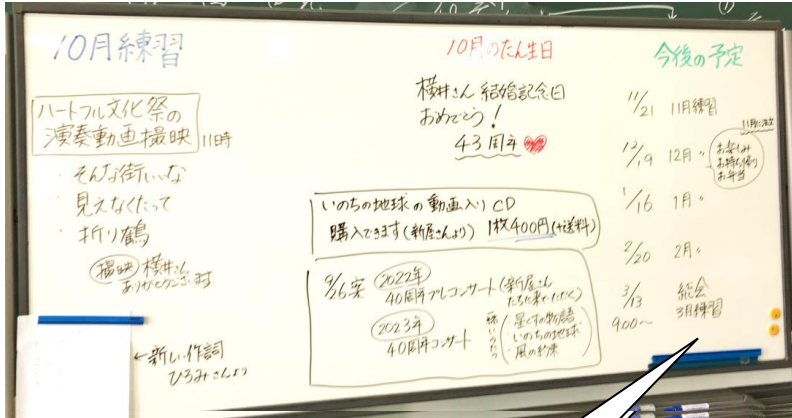


仲間と
歌えば、
そこに笑顔が
生れる

そんな街だより

一人
ひとりが
創り手に
なろう

そんな街いいな合唱団事務局：910-0016 福井市大宮6丁目1-23 小川弘美
電話(小川・携帯)：090-8092-0961 E-mail：oh731lion@gmail.com
URL：http://hiropii.web.fc2.com/



今後の予定を書いていたら、2021年の練習も、11月と12月の残り2回にと気づきました。1年が過ぎるのは本当に早いです。10月頃からコロナが落ち着いてきましたが、この状態が続くことを願っています。12月の練習は、持ち帰りですが、団からお弁当を準備予定です。

10月の誕生日の団員はいなかったのですが、カメラマンとして来てくださったYさんが43回目の結構記念日を迎えるとのこと♥
団員みんなで、おめでとう！を伝えさせていただきました(^^)



ハートフル文化祭の参加動画を撮影していただきました！

十月十七日、十月練習が行われました。先月からアナウンスしてきた十二月のハートフル文化のステージ発表動画の撮影がメインの練習でした。トノが依頼してくださり、動画撮影のために、Yさんが機材を持って来てくださいました。おかげで、全員の顔がしっかりと入り、素晴らしい音声の動画が撮影され、動画参加の規定通りのデータサイズにしてください、無事、ハートフル文化祭の事務局に送ることができました。Yさん、本当にありがとうございました。また、歌っているところの写真も撮っていただき、こんなにいい写真なのは、久しぶりなので、機関紙に大きく掲載させていただきます！



みっちゃんより

十月の練習でも、みっちゃんからの音声メールを聞いてもらいましたが、みっちゃんからは、音声メールのほかに、文でもメールをいただいています。

◆9月26日 もっとたくさんさんのことにチャレンジしないといけないーと思っているんですが、なかなか思うようにはいかないものです。日用品などのお買い物は職員にお願いすれば買ってきてもらえますが、私の外出、私ならそんな街やおでん部などの合唱はまだ何一つ許可をもらえないし、楽しみが奪われているわけで。でも、こもりたくないわけですよ。ここ最近の悩みの一つは、携帯依存症ですね。たくさんさんのジャンルの音楽を検索しているんですよ。なので、これではだめだと思っているんです。何かチャレンジできることはないか、常に悩み続けています。本当は、今はやりのオンライン、リモート、ズーム、でしたっけ、詳しくないのでわかりませんが、何かの形でそんな街の練習に参加できればいいのですが、私はガラケーのこの携帯しかないわけで。ワークセンターのパソコンを借りればいいのでしょうか、それはさすがに私にはできませんしねー。早く自由外出ができるようにならないことには、私は何もできません！！

みっちゃんの、「早く自由外出をー」の気持ち、本当に切実です。私たちも、みっちゃんと歌える日を待ち望んでいます！

◆十月三日 「作戦実行しました」

こんにちは。今日、ハーモニカ演奏ができる方と、他三人、私の指導で五人で音楽会を行いました。今回は練習に参加できない私の初の試みを行ってみたいので、みんな練習日に楽しんでみてください。本当は、ワークセンターのパソコンでも借りることができれば、オンラインでの参加もできるのかもしれませんが、私には、そんな大それた行動ができません。苦肉の策と言ってもいいですね。

このメールで送ってくれたのが、十月に聞いた音声でした。苦肉の策と言いつつ、新しいことにチャレンジしているみっちゃんは、すごい方！十月に動画撮影したそんな街のDVDをみっちゃんに送って聞いてもらおうと思います。

合唱団のマスク

コロナが流行し始めて二年が経とうとしています。それでもみんなのワクチン接種が進み落ちてきたのではないのでしょうか？

私？迷いましたが接種しました。副反応は、若い人が出やすいとか？と言われていましたがなんと三十九℃の高熱、普通はヘルパーさんは泊まる事はできませんが、この時は泊まって頂き、「体温」「体位交換」「水分補給」などをして頂きました。ワクチンでこんなに辛いのですから、「コロナ」にかかったら『生還』は不可能ではないかと思いました。と言う事で、福井県は感染者数が減ってきたところで、マスクに合唱団のイラストをプリントしてみました。少々皆さんの感想が怖いと言うところもありますが・・・ヘルパーさんと一緒に、当たり前の事です、マスクに手袋をしてラップを敷き、消毒をして作りました。手が不自由でも袋から出しやすくしてあります。

お揃いのTシャツとマスクをして、いつの日か、どこかで、演奏したいですね。

(H)



Y君のつぶやき

長年通院していた歯医者さんを変えました（僕は小学4～5年からお世話になった。今は娘さんが継いでいる。）40歳代、50歳代は、自分で運転をし、乗り降りし、院内に入っていたが、ここ4～5年は、車から降りるのを手伝ってもらい、玄関は建物も古く段差があり、スロープはその都度据え付けるものだったので、いつも助手さん3人が手伝ってくれました。



9月からは、家から近いので車いすで10分かんないと思う（ヘルパーさんに押してもらって）玄関まではスロープになっており、院内もフラットで、ちょっと狭いですが障害者用トイレもあります。治療は車椅子に乗ったまま、助手さんが頭を固定してくれます。

痛がりの僕だが、いまのところ痛くない。長年お世話になった先生と助手さんにお礼を言いたい。